

しまぎんの 経営情報

2010年(平成22年)9月期
【単体ベース】



マスコットキャラクター
“シマニー”

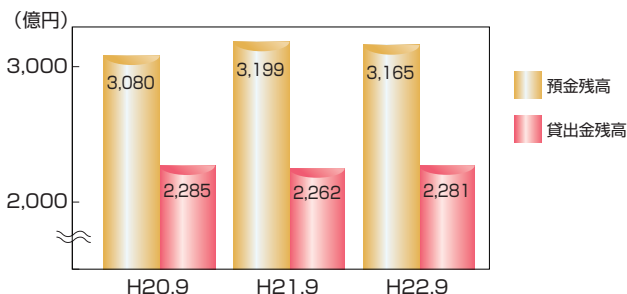
1. 預金・貸出金、個人預り資産

預金・貸出金および個人預り資産の状況は次のとおりです。

預金・貸出金

(百万円)

区 分	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
預金残高	308,069	319,922	316,537
個人預金	215,688	217,476	220,351
法人預金	64,192	63,767	61,482
公金預金	25,867	36,628	32,839
金融機関預金	2,320	2,050	1,863
貸出金残高	228,563	226,290	228,139
中小企業向け貸出	130,160	119,767	114,277
個人向け貸出	65,454	67,306	68,875

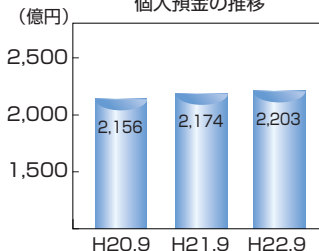


個人預り資産

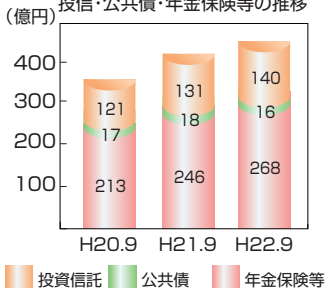
(百万円)

区 分	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
個人預り資産	250,957	257,075	262,951
個人預金	215,688	217,476	220,351
投資信託	12,162	13,104	14,037
公共債	1,752	1,806	1,674
年金保険等	21,353	24,688	26,887

個人預金の推移



投資・公共債・年金保険等の推移



投資信託 公共債 年金保険等

2. 有価証券

有価証券の運用残高および評価差額等は次のとおりです。

運用残高

(億円)

区 分	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
運 用 残 高	738	782	902
内 訳			
債 券	580	595	719
株 式	28	43	47
その他	130	143	135

評価差額等

(億円)

区 分	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期	
満期保有目的の債券等	差 額	▲4	▲1	4
その他有価証券	評価差額	▲15	5	11
内 訳				
債 券	▲8	5	16	
株 式	▲1	1	▲1	
その他	▲5	▲2	▲2	

※金額が過少なため、上記「運用残高」、「評価差額等」には、「売買目的の商品有価証券」は含んでおりません。

※「子会社・関連会社株式」で時価のあるものはありません。

※差額および評価差額は、各決算日の時価に基づき算出しております。ただし、内訳中の「株式」および「その他」に含まれる上場受益証券等の評価差額は、中間期末1ヵ月の市場価格の平均時価に基づき算出しております。なお、平成20年10月28日に企業会計基準委員会より公表された「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会実務対応報告第25号）を踏まえ、平成21年3月期より、変動国債の時価については、合理的に算定した価額に基づき時価を算定しております。

※「その他有価証券」で時価のある株式および投資信託について、減損処理を行う場合の時価の回復可能性の判断基準を厳格化し、中間期末前1ヵ月間の平均時価が30%以上下落しているものについては、すべて減損処理を行っております。

3. 経営成績

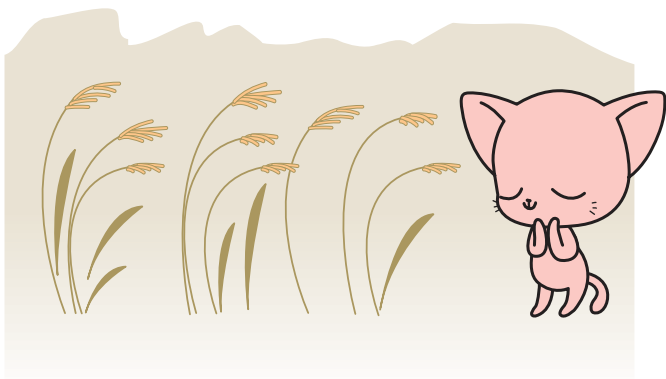
経常収益は、国債等債券売却益が増加しましたが、株式等売却益が減少したことや、貸出金利回りの低下を主因として貸出金利息が減少したことなどから、前年同期比542百万円減収の3,882百万円となりました。

一方、経常費用は、有価証券関係費用、営業経費が増加しましたが、預金利回りの低下を主因として預金利息が減少したことなどから、前年同期比131百万円減少し3,633百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比411百万円減少の249百万円、業務純益は前年同期比323百万円減少の565百万円となり、中間純利益は前年同期比221百万円減少の148百万円となりました。

(百万円)

区 分	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
経 常 収 益	4,509	4,424	3,882
経 常 費 用	4,139	3,764	3,633
業 務 純 益	755	889	565
経 常 利 益	369	660	249
中 間 純 利 益	208	369	148

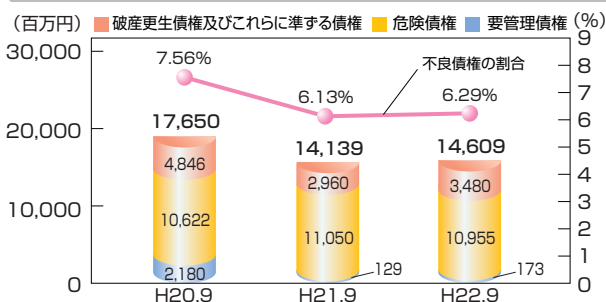


4.不良債権

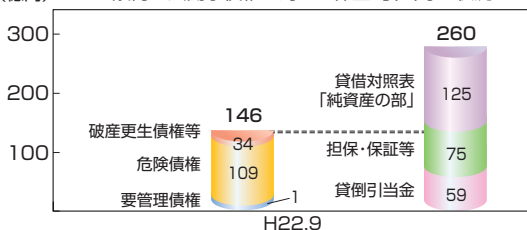
金融再生法に基づく開示債権額（貸出金及び支払承諾等貸出金に準ずる債権を対象）は次のとおりです。

(百万円)

区 分	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,846	2,960	3,480
危険債権	10,622	11,050	10,955
要管理債権	2,180	129	173
計 ①	17,650	14,139	14,609
正常債権	215,562	216,311	217,337
合計 ②	233,212	230,451	231,947
不良債権の割合 ①/②	7.56%	6.13%	6.29%



(億円) 金融再生法開示債権に対する保全・引当等の状況



金融再生法に基づく開示債権について

- ◆「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産・会社更生・再生手続等事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権を指しており、担保等で保全されていない部分については、既に、貸倒引当金にてフルカバーしております。
- ◆「危険債権」とは、債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約どおりの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権を指し、「要管理債権」とは、要注意先に対する債権のうち、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権を指しており、それぞれ区分に見合った貸倒引当金を計上しております。
- ◆この金融再生法開示債権（いわゆる不良債権）146億円対しましては引当金59億円、担保・保証等75億円、計135億円が計上されており、正味の不足額は10億円であります。この全額が万一回収不能となった場合でも、これに対する当行の純資産の部合計額はその11倍強（125億円）あり、不良債権に対する備えは十分にあります。

銀行法に基づくリスク管理債権額（貸出金のみを対象）は次のとおりです。

(百万円)

区 分	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
破綻先債権	2,187	1,366	929
延滞債権	13,243	12,431	13,281
3ヵ月以上延滞債権	25	16	30
貸出条件緩和債権	2,155	112	143
計◎	17,612	13,927	14,383
貸出金残高(未残)①	228,563	226,290	228,139
不良債権の割合◎/①	7.70%	6.15%	6.30%

5. 自己資本比率

自己資本比率は、銀行が保有する貸出金や有価証券等の資産に対し、資本金や引当金等の内部資金をどの程度保有しているかを見る指標であり、銀行の健全性を示す重要な指標です。

区 分	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
自己資本比率	7.53%	8.97%	9.28%
基本的項目(Tier1)比率	5.60%	7.05%	7.36%

自己資本比率について

- ◆当行のように海外に営業拠点を有しない銀行は国内基準の対象となり、自己資本比率が4%以上あることが求められています。
- ◆平成22年9月期の自己資本比率は9.28%であり、国内基準の4%をクリアしています。

基本的項目(Tier1)比率について

- ◆基本的項目(Tier1)比率とは、自己資本の根幹を成す「基本的項目」（資本金や剰余金など）によって算出される比率のことです。
- ◆平成22年9月期のTier1比率は7.36%であり、この比率でも国内基準をクリアしています。

6. 企業の社会的責任(CSR)への取り組み

当行では、お客さま・株主の皆さま・従業員・地域社会からのご期待にお応えするため、従来から多方面にわたる企業活動を推進しております。

今回、その中から、以下の活動をご紹介します。

お客さまがご利用頂きやすい店舗環境の整備

お客さまの立場に立ち、より快適に当行窓口をご利用頂くことを第一に考え、平成19年度より店舗環境の整備を行っております。

こうした取り組みの一環として、平成22年7月～8月にかけて、出雲支店、安来支店、浜田支店の3店舗において、ご来店カウンターの改良やご相談コーナー(ローカウンター)の新設、改良を行いました。

また、バリアフリー化対応としては、視覚障がいをお持ちのお客さまにも安心して当行をご利用頂けるよう、この3店舗の店内に視覚障がい者誘導用点字ブロックを設置したほか、足がご不自由なお客さまのために、未対応であった店舗にはスロープ化も行っております。

今後も、お客さまがご利用頂きやすい店舗環境の整備に努めてまいります。

<店舗環境を整備した店舗(平成19年度～平成22年9月末)>

島根県 (19/25店舗)	本店営業部、本店営業部北出張所、松江駅前支店、松江駅前支店南出張所、松江卸団地支店、黒田支店、上乃木支店、学園通支店、西郷支店、安来支店、大東支店、出雲支店、出雲支店出雲東出張所、出雲支店出雲中央出張所、平田支店、大田支店、江津支店、浜田支店、益田支店
鳥取県 (7/9店舗)	鳥取支店、鳥取支店駅南出張所、米子支店、角盤町支店、米子東支店、境支店、倉吉支店



ご相談コーナー(出雲支店)



視覚障がい者誘導用点字ブロック(安来支店)

地球温暖化防止への取り組み

当行は、地域社会の持続可能な発展のためには、環境への配慮が必須であるとの認識の下、従来より、文書のペーパーレス化の推進などによる省資源活動や「クールビズ」、「ウォームビズ」への取り組みなどによる省エネ活動に加え、ISO認証取得を目指される企業のサポートやエコ定期的取扱いなど、環境保全に向けた様々な取り組みを行っております。こうした中、本年1月より展開されている国民運動「チャレンジ25キャンペーン」の趣旨に賛同し、「チャレンジャー」としてこのキャンペーンが推進する6つのチャレンジに取り組んでおります。

このうちの1つ「challenge6:地域で取組む温暖化防止活動に参加しよう」の一環として、松江市の「松江市一斉ノーマイカーウィーク(平成22年10月18日～24日)」に併せて、当行も、「全店一斉ノーマイカーウィーク」を実施し、多くの行員が、マイカーの代わりに、徒歩、自転車、公共交通機関での通勤を行いました。

今後も、こうした環境保全に資する取り組みを積極的に行ってまいります。



未来が変わる。
日本が変える。
チャレンジ
25



〔しまぎん店舗のご案内〕

■島根県(25カ店)

◎松江市(11カ店)

本店営業部 TEL(0852)24-4000
北出張所 TEL(0852)24-1451
松江駅前支店 TEL(0852)24-1351
南出張所 TEL(0852)24-1251
津田支店 TEL(0852)24-1551
松江御厨地支店 TEL(0852)24-1651
山代支店 TEL(0852)24-1751
黒田支店 TEL(0852)23-7777
上乃木支店 TEL(0852)22-7755
学園通支店 TEL(0852)21-2120
松江緑センター出張所 TEL(0852)24-1564

◎隠岐郡(1カ店)

西郷支店 TEL(08512)2-1224

◎安来市(1カ店)

安来支店 TEL(0854)22-3535

◎出雲市(5カ店)

出雲支店 TEL(0853)30-6611
出雲東出張所 TEL(0853)22-5260
出雲中央出張所 TEL(0853)23-6262
大社支店 TEL(0853)53-2142
平田支店 TEL(0853)62-2314

◎雲南市(2カ店)

大東支店 TEL(0854)43-2621
雲南支店 TEL(0854)45-5557

◎簸川郡(1カ店)

斐川支店 TEL(0853)72-5200

◎大田市(1カ店)

大田支店 TEL(0854)82-0395

◎江津市(1カ店)

江津支店 TEL(0855)52-2626

◎浜田市(1カ店)

浜田支店 TEL(0855)22-0276

◎益田市(1カ店)

益田支店 TEL(0856)22-2222

■鳥取県(9カ店)

◎米子市(4カ店)

米子支店 TEL(0859)34-3131
角盤町支店 TEL(0859)32-5121
米子駅前支店 TEL(0859)33-5221
米子東支店 TEL(0859)22-7370

◎境港市(1カ店)

境支店 TEL(0859)42-3761

◎日野郡(1カ店)

根雨支店 TEL(0859)72-0371

◎倉吉市(1カ店)

倉吉支店 TEL(0858)22-4158

◎鳥取市(2カ店)

鳥取支店 TEL(0857)22-3118
鳥取駅南出張所 TEL(0857)24-8141

本ミニ・ディスクロージャー誌は、しまぎんの主要な経営情報をタイムリーに、また、わかりやすくお伝えすることを目的として作成しております。

今後も地域の皆さまに、積極的な経営内容の情報開示をおこなってまいります。

なお、本誌記載の情報は当行ホームページにも掲載しております。

島根銀行 (平成22年11月発行)

お問合せ先：人事財務グループ
松江市東本町2-35 〒690-0842
TEL.0852-24-1234 (代表)
URL.<http://www.shimagin.co.jp>

